

配送物へのラベリング業務の効率化と廃棄物削減に貢献する 3温度帯ライナーレスラベルソリューションを開発

デジタルハイブリッドのトッパン・フォームズ株式会社（以下トッパンフォームズ）は、配送物へのラベリング業務の自動化・省力化に貢献し、環境負荷を低減する「3温度帯ライナーレスラベルソリューション」を開発しました。

このたび開発したライナーレスラベルは、幅広い温度帯で利用可能なことに加え、裏面の剥離紙がないため廃棄物の削減が可能です。これらの機能は、水を付けると粘着性が発現する再湿糊を採用することで実現しています。また、同ラベルの自動貼り付けが可能な専用オートラベラーを用いることで、業務の自動化・省力化に貢献するソリューションとして提供していきます。



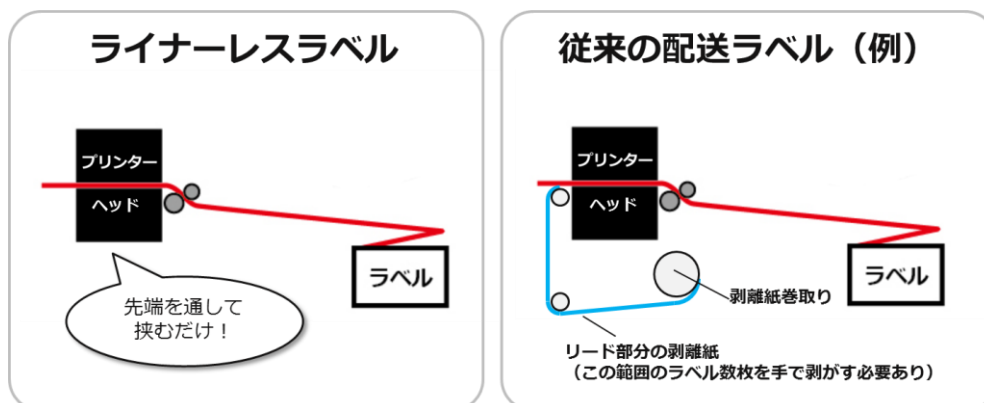
ライナーレスラベル

【特長】

1. 作業効率を大幅に向上

ラベリング業務の自動化により、作業効率が大幅に向上。また、剥離紙がないため、ラベルの取り付け部を簡素化することができ、メンテナンスが容易になることやトラブル時も素早い復旧が可能になります。また作業中に廃棄物を撤去する手間も削減可能です。

図：ラベラーへのラベルセットイメージ



2. 廃棄物削減

剥離紙が不要な構造のため、従来の配送ラベルで発生する廃棄物を削減可能です。100万セットの利用で1.4トンの廃棄物削減効果があり、処分費用の削減効果も期待できます（9インチタイプの配送ラベル利用時の比較）。

3. 冷凍品対応

低温に強い糊を使用しており、常温からF1級（-20℃から-30℃）の温度帯まで利用可能。また結露に強いいため、伝票がはがれる（落伝）リスクを低減します。

【背景】

現在、EC市場は拡大を続けており、それに伴う宅配便の取扱個数も増加の一途をたどっています。また、生鮮品や冷凍品など取扱品が多様化しています。その一方で、物流業界では慢性的な人手不足が顕在化しており、高品質な輸送品質の維持のためには、ITの活用やオートメーション機器の導入などによる省力化や業務効率化が不可欠になっています。そして、同分野への積極的な投資が行われています。

【今後の展開】

トッパンフォームズは、物流業界や通販業界などを中心に「3温度帯対応ライナーレスラベルソリューション」を拡販し、2020年度に1億円の売上を目指します。

また、「ライナーレスラベルソリューション」だけでなく各種帳票・ラベルなどのビジネスフォーム関連や電子通知などのデジタルソリューション、ICタグを中心としたIoTソリューション、定温輸送ソリューションなど、幅広い分野のソリューションの提供により、お客さまの業務効率化を支援していきます。

■本ソリューションの詳細は以下のサイトおよび動画でもご覧いただけます。

・URL（TOPPAN FORMS ソリューションサイト）

<https://solutions.toppan-f.co.jp/solution/3763/>

以上

※ 「デジタルハイブリッド」は、トッパン・フォームズ株式会社の登録商標です。

※ その他記載された製品名などは各社の登録商標あるいは商標です。

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

トッパン・フォームズ株式会社 総務本部広報部 TEL:03-6253-5730